

JOI 特別研究セミナー：中国 2017

日時：2017年10月4日（水）14:00～17:00

場所：株式会社国際協力銀行9階講堂

主催：一般財団法人海外投融資情報財団

後援：株式会社国際協力銀行

プログラム

14:00-14:45 習近平の中国の行方—どこまで「権力集中」したのか

津上 俊哉（津上工作室 代表）

■要旨 習近平の政権は10月の党大会で二期目を迎える。1年前に「党中央の核心」になって以降も権力の集中は続いており、軍制改革や外交面では強いトップらしさが感じられるようになった。しかし、経済面では肥大化する既得権益になかなかメスを入れられずにおり、改革に抵抗する「体制の慣性」は、いくら権力集中しても追いつかないほど強固な印象がある。混迷する米国トランプ政権を尻目に国際的影響力が増す一方で、内部の矛盾が深まっている習近平の中国の行方を展望する。

14:45-15:30 習近平二期目の中国経済とチャイナリスク

柯 隆（株式会社富士通総研 経済研究所 主席研究員）

■要旨 中国経済は重要な転換点に差し掛かっている。従来の、投資依存の経済から消費（内需）依存の経済に転換する節目である。しかし、経済転換と構造問題を解決するには、国有企業の民営化を含む抜本的な政治改革が不可欠である。習近平政権は一期目において反腐敗の大義名分のもと、政敵を次々と失脚させ、権力基盤の強化に取り組んできた。しかし、国民に支持されない政権は安定するはずがない。習近平政権は2017年から二期目に突入する。政治リスクと経済リスクに直面するなか、どのような国家像を持って政治改革と経済改革に挑むかが注目されている。

15:30-15:45 コーヒーブレイク

15:45-16:45 対談「中国最新ビジネス動向:FinTechの進展他」

津上 俊哉、柯 隆

16:45-17:00 質疑応答